



昆さんの体験談を真剣に聞く生徒
＝静岡市清水区の東海大付属静岡翔洋高

震災体験談語り部から

東海大翔洋高で
テレビ電話授業 「安全確保最優先に」

静岡市清水区の東海大付属静岡翔洋高で18日、東日本大震災で被災した語り部とテレビ電話をつなぎ、体験談を聞く授業が行われた。1年生68人が参加した。

岩手県山田町の昆尚人さんが、故郷が津波にのまれる様子を目の当たりにしたこと
や、震災当日の夜に発生した火災の様子などを語った。緊迫した体験談に生徒らは神妙な面持ちで聞き入った。昆さんは一度避難したにもかかわらず家に戻って津波の被害にあった人もいたとし「避難勧告が出たらすぐに避難し、解除されるまで絶対に動かないで。安全の確保を最優先に」と呼び掛けた。

前田巴琉さん(16)は「実際に体験した人の話は現実感があり、自分の身に起こった時のことを想像させられた。震災に備えなければと思った」と話した。(清水支局・石岡美来)